

令和3年度 富士厚生会事業実績報告書

1. 本 部

令和3年10月より新体制として運営をしてまいりました。

本年度も法人本部の事業計画に則り、事業を展開し、サービスを利用している利用者が「安心」「安全」を感じられるよう、富士厚生会の職員一同、努力を行ってまいりました。災害対策においては「法人非常災害基本計画」の見直しを行いました。

新型コロナウイルスの感染対応については、適切に対応し、感染拡大を防ぐことが出来ました。災害や新型コロナウイルスの感染が起きたとしても、福祉サービスの「質」をできるだけ維持できるように体制を強化した一年でした。

主な事項

- ・役員会の運営においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延を懸念し、令和3年6月、令和4年3月の理事会を書面による決議で行いました。
- ・監査の実施では、監事による監査を令和3年6月3日に実施し、会計監査人による財務経理監査においては各施設の経理処理及び財務管理状況について監査を行って頂きました。
- ・研修会においても、新規採用職員研修以外は、新型コロナウイルス感染症の蔓延・拡大の状況や研修利用施設の閉鎖、三密を避けることを重んじて予定されていた研修会は中止としました。

続きまして 各施設の報告です、令和3年度も各制度並びに関係法令を遵守し、法人の規定に準拠（じゅんきょ）し事業を進めました。

2. 特別養護老人ホーム 富士宮荘

入居者の確保については、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、医療機関や行政機関、居宅介護支援事業所等と連携を密にし、年間稼働率は99.9%となりました。

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| ・特別養護老人ホーム富士宮荘 | 平均介護度＝3.9（3.9）
年間稼働率＝99.9%（99.9） |
| ・ショートステイ萩の里 | 年間稼働率＝69.9%（69.9） |
| ・デイサービスセンターみどりの里 | 年間稼働率＝70.5%（72.3） |
| ・居宅介護支援事業所のぞみ | 介護給付費管理数＝528件（460） |

3. 特別養護老人ホーム 彩乃とみざわ

入居者の健康状態を素早く判断し、医師への連絡・受診対応を行い入院ケースを最小限にすることを心掛けました。

新型コロナウイルスの流行により南部町内でも感染者が出ておりましたが、面会制限などの感染症対策の継続により、新型コロナウイルスはもとよりインフルエンザ等の感染者の発生を防ぐことができました。

- ・特別養護老人ホーム彩乃とみざわ 平均介護度＝4.38 (4.43)
年間稼働率＝98.4% (98.9)
- ・ショートステイ彩乃とみざわ 年間稼働率＝89.3% (92.9)
- ・認知症対応型デイサービスセンター-菜の花の里 年間稼働率＝60.9% (60.3)
- ・居宅介護支援事業所彩乃とみざわ 給付管理件数＝874件 (797)
- ・ヘルパーステーションさつき 利用延べ人数＝4419人 (4116)

4. 特別養護老人ホーム シャローム富士川

ユニット型施設として入居者の尊厳を最優先に考え、個別ケアを確立し、生活支援に努めてまいりました。

特に入居者への支援においては、コロナ禍における新しい生活様式を意識して施設の理念から外れることなく入居者の目線にたったケアに努めてまいりました。

また、今年度は、自施設での陽性者発生を想定した大規模なシミュレーションを行い、有事に備えました。この効果もあり、職員1名に新型コロナウイルスが発症したものの、適切に対応ができ、感染拡大させることなく終息できています。

- ・特別養護老人ホームシャローム富士川 平均介護度＝4.06 (4.08)
年間稼働率＝97.5% (97.9)
- ・ショートステイシャローム富士川 年間稼働率＝92.6% (93.4)
- ・デイサービスセンターにこここホーム 年間稼働率＝78.2% (72.7)
- ・居宅介護支援事業所シャローム富士川 給付管理件数＝1006件 (1118)
- ・在宅介護支援センターシャローム富士川 相談・訪問・見守＝11件 (16)

5. 特別養護老人ホーム なかざと

今年度は、入居者の入院や退居が多く、併せて入居申込者の減少により稼働率の大幅な減少となりました。

地域密着型施設として、運営推進会議を通じ近隣地域の情報収集にも努めてまいりました。

入居者様、ご家族様が安心して頂けるようユニットケアの基本理念に基づき個別ケアの提供に努めてまいりました。

- ・特別養護老人ホームなかざと 平均介護度＝4.00（4.13）
年間稼働率＝93.2％（98.9）
- ・認知症対応型デイサービスセンターなかざと 年間稼働率＝33.2％（29.3）
- ・委託事業生きがいデイ及び健康づくりデイ 利用延べ人数＝1521人（1628）

6. 特別養護老人ホーム 松野の里

入居者の皆様が快適にお過ごしいただけるようサービスマナー向上に努め、入居者の尊厳を守り、満足度を高めるサービスの推進に努めました。

入居者の状況は入居者の介護度を常に見直すことで年間平均介護度4.27と高い水準を保てましたが、長期入院者が多数あったこともあり、稼働率は前年対比1ポイントの減となりました。

- ・特別養護老人ホーム松野の里 平均介護度＝4.27（4.27）
年間稼働率＝97.8％（98.7）
- ・委託事業生きがいデイ及び健康づくりデイ 利用延べ人数＝2150人（2195）
- ・地域交流センターみんなの家 利用延べ人数＝3984人（3392）

7. 特別養護老人ホーム 草塩おんせん

令和3年度、利用者の確保については、医療機関や行政機関、居宅介護支援事業所等と、きめ細かな連携を図り入居者の確保と、よりよい介護サービスを提供し入居者が安心して過ごせる環境を整え、職員の資質向上に努めました。

- ・特別養護老人ホーム草塩おんせん 平均介護度＝3.8（3.75）
年間稼働率＝97.0％（97.5）
- ・地域密着型通所介護デイサービスセンターはやかわ
年間稼働率＝57.7％（50.7）

8. 特別養護老人ホーム ソレイユ甲府

施設本体の稼働率は、昨年比2.06ポイント減の94.24%となりました。入退居が30名を超え、体調が安定せず、ご家族より入院を希望されたケースも多くありました。

また、2月に新型コロナウイルスのクラスターが発生し、入居者3名、職員7名、合計10名の発症がありました。山梨県感染対策班より指導があり、法人からの感染症に係わる物資の支援をいただき、入居者・職員ともに回復し、最小限に抑えることが出来ました。

- ・特別養護老人ホームソレイユ甲府 平均介護度＝3.6(3.7)
年間稼働率＝94.2%(96.3)
- ・ショートステイソレイユ甲府 年間稼働率＝76.1%(84.9)
- ・デイサービスセンターつくし 年間稼働率＝54.6%(53.6)
- ・居宅介護支援事業所ソレイユ甲府 給付管理件数＝280件(271)

9. 障害者支援施設 三和荘

施設を住まいの場とする利用者と在宅障害者の双方への適切な生活支援を行ってまいりました。

積極的に利用者の声を聞き取るためにラポールタイムを活用し、コロナ禍における施設生活を楽しんでいただくための、日中活動や行事を考案し実施しました。

職員のマナー向上は、職員個人だけでなく職員全体の意識の底上げを図りました。

- ・障害者支援施設三和荘 平均障害支援区分＝5.6(5.5)
年間稼働率 施設入所支援＝95.9%(97.3)
生活介護(入所)＝95.88%(97.5)
生活介護(通所)＝46.5%(42.7)
- ・ショートステイ三和荘 年間稼働率＝12.2%(31.1)

10. 障害者支援施設 くぬぎの里

利用者が安全、安心、快適に生活することができる環境づくりに取り組みました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の徹底を基本としました。その結果、施設内で感染することなく運営することが出来ました。

障害者支援施設は、入所施設として^{つちか}培った専門性を地域に対して発揮し、地域の中の共存社会として存在致します。

- ・ 障害者支援施設くぬぎの里 平均障害支援区分＝5.5 (5.6)
年間稼働率施設入所支援＝98.8% (96.9)
生活介護＝98.8% (96.9)
- ・ ショートステイクぬぎの里 年間稼働率＝46.6% (39.4)
- ・ デイサービスセンターくぬぎの里 年間稼働率＝43.5% (47.3)
- ・ 指定相談支援事業所くぬぎの里 相談延べ件数＝1913件 (2189)
特定相談延べ件数＝160件 (102)

11. 障害者支援施設 きぼうの里

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大への対応を行い、利用者の健康管理に努め施設内での感染症の発症を防ぐことができました。

利用者への支援や活動については、高齢化・重度化等への対応を意識し、より充実したものにするため職員一同常に工夫・努力をおこない実施しました。

- ・ 障害者支援施設きぼうの里 平均障害支援区分＝5.0
年間稼働率施設入所支援＝97.7% (99.5)
生活介護＝97.7% (99.5)
- ・ ショートステイクぼうの里 年間稼働率＝90.1% (99.9)
- ・ きぼうの里通所 年間稼働率＝84.7% (87.3)
- ・ 地域活動支援センター 年間稼働率＝65.4% (73.4)

1 2. 障がい者福祉センター小泉

障害者総合支援法の生活介護事業で多機能事業所として運営し、4年が経過しました。新型コロナウイルスの影響もあり、他事業所の休業により当センターの利用調整をその都度行い年間利用率は84.31%でした。

今後も信頼を重ねながら利用率を高め、安心して安全に利用していただける事業展開を致します。

・通所生活介護	年間稼働率＝84.3% (77.4)
・放課後等デイサービス	年間稼働率＝68.1% (69.3)
・相談センター小泉	一般相談件数＝5031件 (7161)
	特定相談件数＝658件 (740)
・地域生活支援拠点	相談・対応件数＝62件 (42)

1 3. 長生園

富士宮市より、指定管理者施設として老人福祉法及び富士宮市との協定書、法人各規定を^{じゅんしゅ}遵守し、行政と情報を共有し、措置人員に欠員が出ることなく、安全・安心な施設運営を心掛け運営しました。

・養護老人ホーム富士宮市立長生園	年間稼働率＝96.2% (96.6)
------------------	--------------------

1 4. 富士市富士南部地域包括支援センター

富士市からの委託を受け、11年目となりました。

富士駅南地区・富士南地区・田子の浦地区の3地区を担当しております。

センター内会議において、個別ケースの把握や対応、担当業務の計画と方向性や^{しんちやく}進捗などの協議をし、情報の共有に努めました。

1 5. 富士市富士川地域包括支援センター

富士市からの委託を受け、7年目となりました。

市内で最も高齢化率が高い、富士川・松野地区を担当し、複合的課題を抱えるケースや地域で孤立しているケース、身寄りのない方などの相談が多くなりその都度対応しました。

16. 富士宮市富士根地域包括支援センター

富士宮市からの委託を受け、4年目となりました。

富士根北・富士根南地区を担当し、新規相談・困難ケースなどにはその都度情報共有し、それぞれの専門分野の意見を参考に協力し支援をおこなっていました。

最後に、富士厚生会全施設においては、新型コロナウイルスの世界的な流行により、感染症防止対策に重点を置き、入居者・家族の理解と協力の上に面会の規制や外出行事の自粛、更にボランティアによる行事も中止し、入居者の安全を図りました。

このような状況から、利用者の生活が単調にならないよう、施設内で職員が工夫して様々な行事を行い、充実した日常生活を送ることが出来ました。

新型コロナウイルスに関する職員や同居家族の発症や、濃厚接触者の報告があった際は、随時、感染症対策委員会を開催し、感染予防に取り組みました。

今後も新型コロナウイルス等感染症対策に重点を置きながら、入居者が安心して生活を送ることに^{じんりょく}尽力し、安定した施設経営に努めます。

以上で、事業実績報告を終わらせていただきます。詳細につきましては、資料での御確認をお願い致します。